

《単位互換提供科目詳細》

* 科目 No.	1109
----------	------

科目概要記入欄

1. 開設大学名	広島経済大学			科目開講 キャンパス	本学	
2. 科 目 名	正式科目名	国際企業論Ⅰ 国際的に活躍する企業とはどんなものであるかを学ぶ			クラス名	
	副題				配当年次	3
					受入学年	3年以上
	旧科目名					
	学問分野	番号	42	名称	国際関係	
	サテライトで開講される科目の科目群			A 群	B 群	
3. 担当教員名	川村 健一・ビジネス・教授					
4. 単 位 数	2 単位		5. 開講学期	前期		
6. 開講期間 曜日・時間	2018 年 4 月 17 日 (火) ~ 2018 年 7 月 24 日 (火) 火曜日 10:45 ~ 12:15					
個別開講日	1 回目 4/17	2 回目 4/24	3 回目 5/1	4 回目 5/8	5 回目 5/15	6 回目 5/22
	7 回目 5/29	8 回目 6/5	9 回目 6/12	10 回目 6/19	11 回目 6/26	12 回目 7/3
	13 回目 7/10	14 回目 7/17	15 回目 7/24	16 回目	試験日	/
7. 基礎知識の有無	2. 「基礎知識を必要としない科目」					
8. 募集人数 (総授業定員)	制限なし (人)		9. 定員超過時の 選考方法	なし		

10. 科目内容・ 授業計画	1. 科目内容 本講義は、グローバルな企業活動を行っている様々な分野（後述）の企業の中からビジョンをもち先見性に優れた経営理念を持つ6社を選び出し組織、歴史、コアコンピタンスとなるビジネスモデルを学ぶと共に国際マーケットにおける企業活動を討論することを目的とします。また、皆さんが企業に入った際の企業と従業員とのステークホルダーとしての関係を理解してもらうことをポイントにしています。講義に際しては、最初に前述の各社の経営に関わっている方々のプレゼンテーションを講義で学んだ後、次の講義でケーススタディとして企業活動を解説し討論することを基本スタイルとします。具体的には、7～8社の経営理念、戦略、組織、人事、事業の業務内容、社会との関係性を計画から実行へのプロセスなどについての解説を行います。毎回、講義の後に小レポートの提出をリクエストします。また、講義の冒頭で前回の講義の復習をします、これにより、理解を深めます。		
	2. 授業計画		
	第1回	国際企業論Ⅰの講義全般の内容ガイダンス	
	第2回	これからの世界・日本・広島を考える 田村 国昭（元 博報堂 執行役員）	
	第3回	広島で成功した世界に成長するベンチャー企業の社長に聞く 新しい事業の立ち上げとは、経営者としての視点を学ぶ 福田 幸雄（アスカネット社長）	
	第4回	企業と経営理念を知る。“SONY、HONDA、ソフトバンク”等の企業創業者・スタッフの解説 企業理念、歴史、国際政略、事業計画、組織に関するの解説	
	第5回	「企業経営と環境問題：CO2 排出規制下で進むイノベーション（新規ビジネスの創生）」 物江 陽子（大和総研 経済環境調査部）	
	第6回	“ベンチャー・キャピタル（VC）の役割と戦略、IPO（株式上場）” これからのベンチャー企業の成長戦略を聞く。 福田 寛治（（株）広島ベンチャーキャピタル）	
	第7回	東日本震災後のビジネスを考える。不自然な事態に対してのBCPを考える。 様々な損害補償の保険を、学ぶ。新たな保険の可能性は？ 生命保険の設計・損保の考え方と設計を学ぶ	
	第8回	デジタル・コンテンツの今後のビジネスモデルを考える アニメ、SNS、映画、TV、音楽、インターネット、スマートアプリ 小野打 恵（（株）ヒューマン・メディア 代表取締役）	
	第9回	世界を目指す食のビジネス（1）“カルビー”に聞く 世界の食産業の動向とカルビーの世界マーケット戦略 石辺 秀規（カルビー（株）執行役員西日本事業本部本部長）	
	第10回	世界を目指す食のビジネスと社会の関係（2） 田中 希幸（キリンビール（株）CSV本部 CSV推進部部長）	
	第11回	世界の企業の求めるエネルギー・社会技術を考える 半導体事業・車載コンピュータ分野 森安 俊夫（東芝（株）顧問 元専務）	
	第12回	家庭でのエネルギーシステムを通して社会の環境をに挑戦する（仮） 亘 秀明（（株）ノーリツ 管理本部 CSR・環境推進室・室長）	
	第13回	Walt・Disney のライセンスビジネス”を学ぶ 井上 英之（元 博報堂、替エンジニアリング取締役）	
第14回	ビジョナリー・カンパニーより、“良い会社とは？” 経営戦略の本質とは何か、まとめを行う		
第15回	前期試験に向けて考えるべき視点と企業論のまとめ		
11. 試験・評価方法	定期試験を実施します。 出席状況＋ケーススタディのレポート＋小試験 40%、前期試験 60%の総合評価で判断する。遅刻者や受講態度が芳しくない者については、減点がある。		
12. 別途負担費用	特にありません		
13. その他特記事項	特にありません		
14. サテライト科目の社会人受講について	科目等履修生（単位付与）として受け入れ	可	否
	聴講生（単位認定不要）として受け入れ	可	否